

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 スポーツ交流係 電話番号：058-272-1111(内2618)

E-mail : c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 19,848 千円 (前年度予算額： 19,848 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	19,848	0	0	0	0	0	0	0	19,848
要求額	19,848	0	0	0	0	0	0	0	19,848
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県出身で日本女子陸上界初の五輪金メダルをもたらした高橋尚子氏を大会長とする国際ハーフマラソン「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の開催を契機に、「ぎふ」の観光資源を国内外に向けて積極的にPRすることで、活力ある地域づくりを推進していく必要がある。

(2) 事業内容

岐阜県の魅力を積極的にPRするとともに、実行委員会に参画し、その開催に要する経費を一部負担する。

【2026年大会開催概要】

- 開催時期 令和8年4月26日（日）
- 開催方式 実行委員会形式
(構成：県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、
(公財)岐阜県スポーツ協会、中日新聞社)
- コース ハーフマラソン、3キロの部
- 参加定員 11,000人

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の観光資源を国内外に積極的にPRし、活力ある地域づくりを推進していくためには、県での費用負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	410	関係団体との交渉、調整等
需用費	620	事務消耗品費等
役務費	124	通信運搬費等
委託料	8,694	輸送・駐車場管理業務
負担金	10,000	実行委員会負担金
合計	19,848	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
- ・第2期岐阜県清流の国スポーツ推進計画
(IV地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり)

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県出身でオリンピック金メダリストである高橋尚子氏と関わることができるぎふ清流ハーフマラソンを継続的に開催することで、地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを目指し、スポーツ実施率の向上を目指す。

さらには、大会を通して活力ある地域づくりを推進し、「ぎふ」の魅力を国内外に向けてさらに発信する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H23)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①スポーツ実施率	43. 6%	47. 4%	65. 0%	65. 0%	65. 0%	72. 9%

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	新型コロナウイルス感染症の影響により、ランナー全員にPCR検査を実施したうえで、3年ぶりに実走で開催した。また、地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを推進するとともに、「ぎふ」の魅力を発信するため、開会式での県産品のお土産配布や会場イベントにおける県内観光資源等のPRを実施した。
	指標① 目標：65. 0% 実績：49. 1% 達成率：75. 5 %
令和 5 年 度	コロナ前と同条件（検査なし、マスク着用自由、声援ありなど）で約8千人のランナーを迎える開催した。また、地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを推進するとともに、「ぎふ」の魅力を発信するため、開会式での県産品のお土産の配布や会場での県内観光やスポーツ事業のPRを実施した。
	指標① 目標：65. 0% 実績：51. 8% 達成率：79. 7 %
令和 6 年 度	約9千人のランナーを迎える大会を開催。 地域住民が気軽にスポーツに親しむ環境づくりを推進するとともに、「ぎふ」の魅力を発信するため、開会式での県産品のお土産の配布や会場での県内観光やスポーツ事業のPRを実施した。
	指標① 目標：65. 0% 実績：47. 4% 達成率：72. 9 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	本大会は「ぎふ」の魅力を国内外へ発信する絶好の機会であるとともに、大会を通じて活力ある地域づくりへつなげることができる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 3	大会を通して「ぎふ」の魅力を国内外に発信するとともに、各種にぎわい創出事業等により地域活性化が図られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	実行委員会の各構成員が、協議運営や事業運営などを分担して実行することにより、業務の円滑な実施につながっている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

大会を通じて、「ぎふ」の魅力をより積極的にPRし、地域活性化や観光振興につなげていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
地元密着型イベントとして、より一層地元団体や地域住民の参加を促し、地域活性化を推進していくとともに、「ぎふ」を国内外に向けてさらに発信していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	